

## 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会

### 基礎医学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）

#### 議事要旨

日時 平成28年5月2日（月）16:00～18:00  
会場 日本学術会議 5-A（1）会議室  
出席者 笹川委員、清水委員、永井委員、本間委員、高濱委員、田中委員、藤本委員、三品委員  
陪席 日本学術会議事務局（石井参事官、大橋参事官付）

#### 配布資料

- 資料1 学術大型研究計画における審査・評価プロセスについて
- 資料2 評価小分科会における審議事項等
- 資料3 第23期マスタープラン策定に係る利益相反に関する考え方
- 資料4 今後のスケジュール
- 資料5 基礎医学分野の応募提案一覧・評価用紙【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

#### 議 題

- 1) 役員の選任について  
委員の互選により、委員長として清水委員が選出され、委員長より副委員長として三品委員が、幹事として笹川委員及び本間委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
- 2) 評価小分科会における審議事項等  
学術の大型研究計画検討分科会委員でもある永井委員より、資料について説明があった。

3) 利益相反についての考え方の確認

学術の大型研究計画検討分科会委員でもある永井委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。その後の議論で、4名の委員から、利益相反について申告があった。この点については、評価結果と併せて、メールベースにて十分に、委員間で確認することとした。

4) とりまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、各委員の評価が利益相反の点から問題がないことの確認、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1、33-1、34-1）を選択した提案を除く）の順位づけ及び応募提案（区分Ⅱ）のコメント案のとりまとめの審議の方法を、十分にメールベースで検討した上で、委員長一任とすることとした。

また、副分野を選択している提案について、副分野での評価を依頼するか議論し、依頼しないこととした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

また、第1回の議事要旨については、委員長一任とすることとした。